

第1号様式（第5条関係）

令和 年 月 日

(宛先) 公益財団法人京都高度技術研究所 理事長 様

〒〇〇〇-〇〇〇〇

所在地 京都市山科区～

名称 株式会社〇〇

代表者 役職名 代表取締役

氏名 花街 京子

電話 〇七五-〇〇〇-〇〇〇〇

京都市デジタル化推進プロジェクト支援申請書（デジタル導入枠）

京都市デジタル化推進プロジェクト実施要綱第5条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

1 申請者の概要

業種	小売業 ※日本標準産業分類の大分類を記載	創業年月	株式会社〇〇
資本金	〇〇万円	従業員数	5名（内正社員2名）
所属組合	〇〇組合	市内の土地・ 建物の有無	建物（□有り・ <input checked="" type="checkbox"/> 無し） 土地（□有り・ <input checked="" type="checkbox"/> 無し）
事業実施場所 及び自社担当者	〒〇〇〇-〇〇〇〇 京都市山科区～ ※事業実施場所は京都市内に限ります。 担当者役職・氏名 TEL: 〇八〇-〇〇〇-〇〇〇〇 (代表取締役) 花街 京子 E-Mail: ~@~ ※必ずご連絡が可能な連絡先を記入してください。		
業務内容	菓子製造及び販売		
主要取扱品・ サービス	菓子製造(40%)	商品販売(60%)	(%)
	(%)	(%)	(%)
年間売上高	●●●千円 (2025年4月～2026年3月)		

2 事業内容

(事業概要、自社の強み、主な顧客、特徴について簡潔に記載してください。)

〇〇に拠点を構え、〇〇の提供を行っています。

弊社の強みは〇〇であり、〇〇から〇〇な評価をいただいております。現在は店舗販売に加え、〇〇といった体制で運営しています。

3 デジタル化計画

(1) 本事業で実施したい内容(補助金・専門家派遣を通じて「どの業務」を「どのように」デジタル化したいのか、簡潔に記載してください。)

【導入するITツール名】の導入による「【解決したい課題】の見える化」と、適正な【管理業務名：例・製造計画や在庫管理】の実現。

具体的には、従来の【現在のアナログな手法】を【デジタルツール】に切り替えて、「【リアルタイムで把握したいデータ・指標】」を正確に把握する仕組みを構築します。このデータを基に、【効率化したい具体的な作業】の最適化を図ります。

(2) 本事業への申請に至った理由・経緯、自社の現状と課題

① 本事業への申請に至った理由・経緯(デジタル化に取り組もうと考えたきっかけを記載してください)

現在、【直面している外部環境の変化：例・コスト高騰、法改正、人手不足等】が続いており、従来のような「勘と経験」に頼った【業務名】では、【経営上の悪影響：例・利益の圧迫、作業の遅延等】が深刻化しています。また、【具体的な困りごと：例・事務作業の増大、ミスの発生】により、本来注力すべき【本業の重要業務】に支障が出ています。

これらを解決し、データに基づいた効率的な経営へ転換するために本事業を申請しました。

② 自社のデジタル化の取組状況(現在の状況に最も近いものを選択してください。)

- 未着手：全くデジタル化に取り組めていない(紙や電話、FAXでの業務が中心)
- 初期段階：一部の作業について、既にデジタル化に取り組んでいる
- 活用段階：データ管理はしているが、共有や効率化していない。
- 実施中：自社のデジタル化を着実に進めることができている。
- その他()

③ 自社のデジタル化に係る現状・課題（上記②の内容や具体的に「どの業務」に「どのような困りごと」があるかを記載してください）

現在は【具体的な判断基準：例・天候や過去の傾向】を裏付けるデータがなく、結果として【発生している具体的な損失：例・過剰在庫、機会損失、過度な残業】が頻発しています。

また、事務作業においては【具体的なアナログ作業：例・手書き伝票の転記、集計作業】に毎日【作業時間】を要しており、大きな非効率が生じています。加えて、【管理対象：例・原材料、顧客情報、工程】が属人的な管理となっているため、【発生しているリスク：例・発注ミス、情報共有の漏れ】といった課題も抱えています。

④ 自社のデジタル化の推進に向けた意欲、必要性

弊社の本質的価値である「【自社が最も大切にしている価値】」を守り続けるためにも、バックヤード業務のデジタル化による生産性向上は不可欠です。デジタル活用により【実現したい将来像】を確立し、地域社会に貢献し続ける持続可能な経営基盤を構築したいと考えています。

⑤ 本事業で専門家に相談したい・助言してもらいたい内容（具体的に記載してください）

- ・【繁忙期や現場の特殊な環境】でも滞りなく稼働し、かつ【従業員のリテラシーや操作性】に配慮した、最適な【導入 IT ツール名】の選定支援。
- ・蓄積された【売上や顧客などのデータ名】から、「【改善したい具体的な課題：例・死に筋商品の把握、リピート率の低さ】」を解決するための具体的な分析手法や、施策への繋げ方についての助言。

(3) 本事業の実施により期待する効果

本事業の実施により、業務がどのように改善されると期待していますか？（定量的・定性的効果を踏まえて、具体的に記載してください。）

- ・【分析するデータ名】を分析し、状況に応じた【業務名】を行うことで、【削減したいコスト・ロス】を現状の【数字】%以下に削減することを目指します。
- ・【自動化する作業名】が効率化されることで、毎日の関連業務時間を【現在の時間】から【目標の時間】に短縮し、年間で計【合計削減時間】時間の余力を創出します。
- ・【質の向上】：【活用するデータ名】を基に、【新たな施策：例・DM 配信、新商品開発】を行うことで、【向上させたい指標：例・客単価、リピート率】の【数字】%アップを目指します。

(4) 本事業実施における想定経費

〇〇〇, 〇〇〇円

- ・クラウドPOSレジ導入・周辺機器（ドロア・プリンタ）：〇〇〇, 〇〇〇円
- ・管理用タブレット（1台）：〇〇, 〇〇〇円
- ・導入研修費：〇〇, 〇〇〇円

(5) デジタル化の取組に関して、今後進めていきたい取組があれば、該当する項目にチェックしてください。（複数回答可）

- 顧客・取引先管理ツールの導入（予約管理ツール、販売管理ツール等）
- 会計管理ツールの導入（会計管理ツール、経費積算ツール等）
- POSレジシステムの導入
- 決済・請求管理ツールの導入（見積・請求・入金管理ツール等）
- 在庫管理ツールの導入
- 情報管理・共有ツールの導入（イベント管理ツール、サイバーセキュリティ対策等）
- 労務・勤怠管理ツールの導入
- 分析・自動化（AI）ツールの導入
- ペーパーレスを推進するツールの導入
- ECサイトの構築
- ホームページの構築
- その他（)